

H29 年度医療技術等国際展開推進事業専門家派遣報告書

医学医療系 消化器外科・臓器移植外科 講師 高橋 一広

平成 29 年 11 月 12 日 ～ 平成 29 年 11 月 17 日

今回、11 月 12 日から 11 月 17 日までチョーライ病院・肝臓腫瘍科でお世話になりました。肝臓腫瘍科お病棟は新しくできた別棟にあり、他科の病棟は異なり、患者・家族がごった返す雰囲気はあまりなく、想像していた状況とは大きく異なりました。私の主な活動は肝臓手術の見学・技術指導、外来診察および手術適応についての検討、術後患者の見学、そして VIP の日本での手術についてのコンサルトでした。手術に関しては非常に技術が高く、限られたデバイスを最大限に生かした手術ができていました。手術時間も短く、出血量も少ないことから技術は非常に優れていることを理解しました。一方で、術前の残肝ボリュームについての検討、術前のリスク評価、術後胆汁瘻の診断・管理については、まだ日本のレベルには追いついていないことを理解し、チョーライの先生方とそのことについてディスカッションを繰り返しました。また、彼等が術後の長期フォローに苦慮しているのが分かり、患者啓蒙の必要性について話し合いました。また、2 件の VIP コンサルトを肝臓腫瘍領域でいただき、両方共に日本で手術を希望されるとのことでした。各々の手術自体は、決して複雑ではなく、術後合併症や長期フォローの点から、私としてはむしろチョーライ病院での治療が望ましいと思いました。患者が日本での治療を望むとのことでしたが、チョーライ病院の先生方の手術技術は優れているので、より細やかな術前計画と術後管理を確立できれば、むしろ我々以上のケアができるのではないかと思います。最後に、チョーライ病院の先生方は「学ぶ」ことに関して、謙虚かつ真摯な姿勢が大変印象的でした。私たちも今の自分達に満足することなく、彼等のような謙虚かつ真摯な姿勢で医療の高みを目指して行ければと思います。

活動時の写真等

写真 1. VIP コンサルト



写真 2. シンポジウムでの発表



写真 3. 手術指導

